



映画の原作を図書館で探してみよう!



『帰ってきたヒトラー 上・下』

ティムール・ヴェルメシュ/著 河出書房新社

2016年6月17日 映画公開

#ヒトラーが突如現代に！?
#人々を洗脳してしまうのか！?
#ヒトラーそっくりの芸人！?
(高校3-1 図書委員)

『小説 すずめの戸締まり』

新海誠/原作 KADOKAWA

2022年11月11日 映画公開

#過去・現在・未来 #扉
#椅子 #お返し申す
(高校1-4 図書委員)

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

汐見夏衛/著 スターツ出版

2023年9月1日 映画公開

#学園 #青春 #恋愛
#マスク #優等生
(中学2-1 図書委員)

※本号に掲載した画像データは、著作権法第47条の2および著作権法施行規則第4条の2を遵守しています。



図書委員の「推し」の作家紹介 「辻村深月」



『ロードムービー』

辻村深月/著
講談社

『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ』

辻村深月/著
講談社



皆さんはミステリーに興味はありますか? 「ミステリー」と聞いたら何を思い浮かべるでしょう? 巧妙に仕掛けられたトリック? それを鮮やかに解き明かす探偵? 辻村深月の作品には、それらはほとんど登場しません。ではなぜ、彼女の作品がミステリーに分類されるのか。それは物語に隠されていた謎が解けると、それまでただの文章だったものが伏線となっていたことに気付くからです。そこには、名探偵が謎を解き明かしたときのような「あっ」と驚く感動があります。そして、明かされた真実に仄かな哀しさと温かさが漂うのも辻村作品の魅力です。今回紹介する本は、辻村作品の中でも特にミステリーの良さが感じられるものです。謎が解ける快感を楽しみたい方は短篇集の『ロードムービー』、厚みのある伏線や自分でも謎を解くことを楽しみたい方は長編小説の『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ』をオススメします。読んだ後、きっと心に何かが残るはず。是非、一度手に取ってみてください。

(高校3-1 図書委員)